

「介護のプロ」として暮らしを支える

介護福祉士

福岡県介護福祉士会は1992年5月に設立され、介護福祉士の専門性を高め、社会的評価の向上を図り、福岡県民の福祉の向上に寄与することを目的としています。介護のプロである介護福祉士について福岡県介護福祉士会会長 因利恵さんにお話を伺いました。

介護福祉士の仕事内容

介護福祉士は、日常生活が困難な高齢者や身体、精神に障害のある人などに対して、食事や入浴、排泄などの身体介護を行います。

また介護するだけでなく、その幅広い知識をいかし、生活相談員やサ―ビス提供責任者の役割を担ったり、家族の介護をする方や、介護現場で働くヘルパーに指導や助言をすることも、介護福祉士の役割になります。介護の資格はいろいろありますが、介護福祉士は国家資格になります。

介護福祉士の活躍の場

介護福祉士が活躍するのは、さまざまな福祉の現場で、お年寄りや体の不自由な方のための社会福祉施設や、自宅で介護サ―ビスを提供する訪問介護、有料老人ホームでも介護福祉士は求められています。

超高齢化を迎える中、介護職は益々必要とされ、介護サ―ビスの中心となる、重要な存在です。

介護福祉士の資質向上を目指して

介護福祉士としての専門性を高めるため、介護福祉士会では技術の向上を目指し、キャリアアップのための様々な研修会や講習会を行っています。

年1回の海外研修では、スウェーデン、デンマークなど福祉先進国と呼ばれる国へも行ってまいりました。その中で確信したことですが、介護技術は日本が一番だと思いません。頑張らなければいけない部分もあります。頑張る、それでも一番だという実感をもっています。日本はいち早く高齢化に突入しました。今後はこの経験を、これから高齢化を迎える東南アジアの国々の介護に活かしてもらいたいと考えています。他にも介護人材確保に対する提言や、介護福祉士の社会的評価の向上など政策提言を行っています。

利用者様へ向けて

生活上、困っていることを支える

のが、介護福祉士の役割ですから、困っていることはまずは遠慮なく、おっしゃってほしいと思います。我慢する必要はありません。

当然私達も介護職として、言われなくても察知する能力を磨いています。やはりご本人から伝えていただくことが一番です。「困っている」ということを言葉でも、表現でも伝えていただければと思います。

また一般の方や、介護職の方からの介護に関する悩みや相談も受け付けています。電話でも構いませんので、ご連絡いただければと思います。

介護職は益々必要とされています。
介護に参入される方の発掘や教育に力を注ぎ、
安心して老いる社会づくりに邁進していきます。



公益社団法人 福岡県介護福祉士会 会長

因 利恵さん



公益社団法人 福岡県介護福祉士会
〒812-0012

福岡市博多区博多駅中央街7-1-5F

TEL 092-474-7015

(平日 9:00~18:00)